

◆ 『ゆとりと活力・調和のとれた「幸田」のまちづくり』 ◆

幸田町

町政レポート

# さこう弘康

2019年1月 No.47

発行：さこう弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918



皆さまには、新しい年を健やかに迎えのことと  
旧年中はお世話になりました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 12月定例会報告

会期 = 平成30年12月3日～21日

平成30年12月定例会では、人事案件1件、単行議案2件、1億6893万円の一般会計をはじめ2件の補正予算関係の3議案と最終日に追加上程された4議案の計7議案を原案通り可決承認しました。また、陳情3件を審議し、いずれも不採択としました。



私は、一般質問に登壇し、住民目線で皆さんからの「声」を届け、実現に向け提案、発言をしました。(詳細は2ページに掲載しました) 幸田町議会議員 酒向 弘康

## ＝ 可決した議案 ＝ (主な議案を抜粋)

- 「道の駅」指定管理者の指定・・・(幸田町地域振興施設の管理運営業務)  
指定管理者の指定→ 合同会社「筆柿の里・幸田」を選定(平成31年4月1日～平成35年3月末まで)
- 補正予算関係 一般会計歳出・・・債務負担行為・・・児童生徒の増加と健全育成のため
  - 1.豊坂小学校校舎増築工事の設計業務 1000万円・2教室と屋外トイレの建設
  - 2.学校給食センター増築工事経費 1億8600万円 消毒用保管庫増築。夏休みに集中工事の実施

## ☆ 注目施策 ☆



「皆さんの声」を届け 実現!

### 「住民サービスの向上を!」

平成31年4月から  
幸田町役場窓口でパスポートの  
申請～受け取りができます

愛知県から、旅券事務を市町村への権限移譲することとなり、申請者の戸籍が当該市町村内にある場合、旅券申請に必要な戸籍謄本又は抄本の取得と旅券の申請が同時に可能となり、便利になります。



役場ですべて  
手続きができます。

### 「救える命を救う取り組みを!」

平成31年5月から  
「AEDが 町内の全コンビニ店  
19店舗に設置」されます



「いつでも誰でも使用できるAED  
の設置を!」の訴えが実現しました。



AEDは、コンピューターによって心臓のリズムを調べ電気ショックが必要かどうかを判断する機械で、救急現場で一般の人でも、簡単に安心して行うことができるように設計されています。

(2ページに関連記事掲載)

# さこう 12月議会 「一般質問」 (12月7日 9:00～登壇) の概要

## 児童クラブの 入所基準に 公平感を!



＜発言の背景＞ 本町は人口増加とともに児童数も増加、加えて共働き家庭も増え、児童クラブのニーズが、増設に追いつかない状況だ。待機児の現状と入所基準の明確化、公平な選考、今後の対応を問う。

### 児童クラブ



Q1：役場窓口へ保護者からの意見や 問い合わせの内容と、その後の状況は。

A1：「入会の優先順位の決め方が不透明だ」「入会後に仕事を辞めている家庭がある」などの声。現在(11/1) 通年36人、長期73人の待機者が発生。

Q2：「本当にサービスが必要な方に利用してもらう」その対応策は。

A2：低学年児童、ひとり親家庭を優先させ、数か月利用の無い方に退会を促し、本当にサービスが必要な方の入会を順次進めている。

Q3：来年度からのクラブ入会基準と不公平感の改善点は。

A3：入会基準を公表し、優先順位を決定。

Q4：今後の受け入れ見通しと増設計画は。

A4：児童数の動向を注視し整備を進める。来年度は豊坂小学校校舎増築に合わせ、定員を現在の30人から40人にする。



放課後児童クラブ 実施場所・定員		
児童クラブ名	場所	定員
坂崎第1児童クラブ	坂崎小学校体育館内	20人
坂崎第2児童クラブ	坂崎小学校増築棟内	40人
幸田第1児童クラブ	幸田小学校体育館内	30人
幸田第2児童クラブ	幸田小学校北校舎	40人
幸田第3児童クラブ	幸田小学校増築棟	40人
幸田第4児童クラブ	幸田小学校南校舎	40人
中央第1児童クラブ	中央小学校体育館内	50人
中央第2児童クラブ	中央小学校体育館内	40人
荻谷第1児童クラブ	荻谷小学校体育館内	20人
荻谷第2児童クラブ	荻谷小学校特別教室	40人
深溝第1児童クラブ	深溝小学校体育館内	20人
深溝第2児童クラブ	深溝小学校南舎	40人
豊坂第1児童クラブ	豊坂小学校体育館内	20人
豊坂第2児童クラブ	豊坂小学校新館	30人

## 地震災害時「住民の命を守る」 施策強化を!

＜発言の背景＞今年も自然災害が多く発生し、多大な被害が発生した。発災時、発災後「住民の命を守る」ことは、行政の役目である。本町の取り組みを問う。

Q1：南海トラフ巨大地震」での本町の死者数予測は。

A1：最大想定モデルとして震度7で、死者数は60人を想定。

Q2：住宅の耐震化と、耐震シェルターの設置状況は。

A2：平成15年度から改修工事75件、耐震シェルター2件。

Q3：「家具転倒防止の支援制度事業」の現状と推進強化を!

A3：福祉施策として、制度充実を関係部署と図っていく。

Q4：本町の「災害時避難行動要支援者」登録の現状と課題は。

A4：手あげ方式だった昨年までは、155件だったが、1422件と急増、登録の適正管理に努める。



## 消防力の整備と「救える命を救う」 取り組みを!

＜発言の背景＞消防の「消防、救急、救命」整備強化の取り組み施策を問う。

Q1：消防職員の人員の充足率と、設備、車両の整備率は。

A1：人員56人で54.4%、消防ポンプ自動車33.3%、他車両100%。



Q2：女性の視点を生かせる、本町の女性消防士採用にむけた取り組みは。

A2：高校生にインターンシップの実施と就職指導で採用の説明を実施。

Q3：住民の救える命を救う「AEDの町内コンビニ店設置」の状況は。

A3：来年5月、リース方式で4社19店舗に設置し、24時間使用可能に。

さこう弘康のホームページを見に来てください。

「ご意見も 受け付けています」

さこう弘康

検索

<http://www.hiro-sakou.com/index.html>



※お願い：町政レポート配布するにあたり、氏名や住所の間違い、変更がありましたら上記までご連絡ください。